

地盤改良工事のご案内

安心・安全な工法から、最適な工法をご提案します。

地盤を補強するには？

地盤の構造や建設する建物により補強工法が異なるので最適な工法を選択する必要があります。

地盤補強工法

表層地盤改良

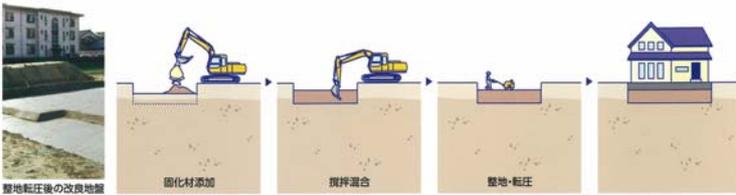
目安金額：部分改良 23～50万円、全面改良 35～80万円
※残土処理別途

特長

- 建物下全体を改良することで剛性のある安定した地盤を築造
- 最大改良深さ2.0m程度
- 残土発生あり

使用機材・材料

- バックホウ、ローラー、セメント系固化材



層地盤圧後の改良地盤

RES-P工法(細径鋼管)

【建築技術性能証明取得工法 GBRC性能証明 第04-02号】

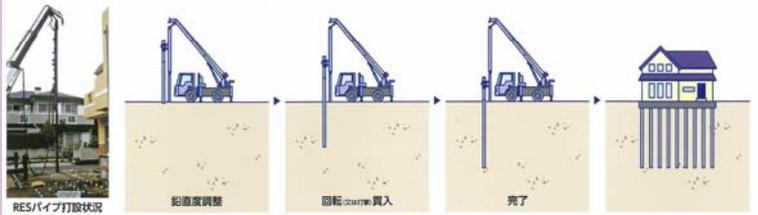
目安金額：40～120万円

特長

- 建物下にパイプを挿入し、地盤とパイプの複合作用で地盤を強化
- RESパイプ径48.6mm
- 最大パイプ長12m
- 残土発生なし

使用機材・材料

- RES専用杭打機、RESパイプ



RESパイプ打設状況

クロスウィングコラム工法(柱状地盤改良)

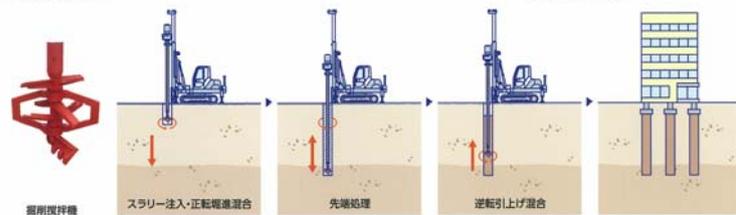
目安金額：30～100万円
※残土処理別途

特長

- 建物下に円柱の改良体を作成し建物を支持
- 最大改良長12m
- 改良径0.4m～1.2m
- 残土発生あり

使用機材・材料

- 柱状地盤改良機、プラント、セメント系固化材



縦型攪拌機

ピュアパイル工法

【建築技術性能証明取得工法 GBRC性能証明 第11-28号】

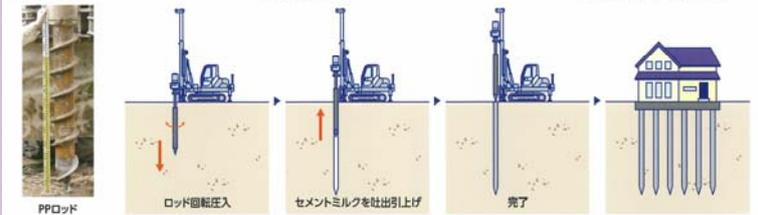
目安金額：30～100万円

特長

- 建物下に杭状のセメントスラリーをそのまま固化させ、建物を支持
- 改良径150mm～200mm
- 最大改良長10m
- 残土発生なし

使用機材・材料

- 柱状地盤改良機、プラント、PPロッド、セメント系固化材、PPパウダー



PPロッド

Σ-i工法(拡底翼付鋼管)

【建築技術性能証明取得工法 GBRC性能証明 第10-13号】

目安金額：50～150万円

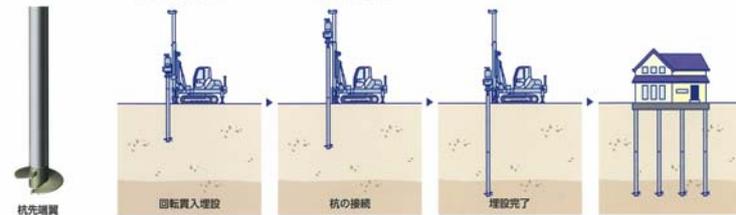


杭先端翼

- 建物下に鋼管杭を打設し、建物を支持
- 最大鋼管長18m
- 拡底翼径270mm～400mm
- 鋼管軸径89.1mm～165.2mm
- 残土発生なし

使用機材・材料

- 杭打機、発電機、Σ-i拡底翼付鋼管



杭先端翼

建物沈下修正工事(アンダーピニング工法)

目安金額：250～800万円

もともと地盤が軟弱だったり、近隣の掘削工事や振動などによって地盤沈下が引き起こされ、建物が傾くことがあります。このような場合に、沈下修正工事によって傾いた家を水平に戻します。



他社の地盤調査データからもお見積り可能です。
お気軽にお問合せ下さい！

地盤改良工事見積依頼書

- お申込日：201__年__月__日
- 会社名：_____
- ご住所：〒_____
- _____都・県_____
- 電話番号：_____ ■ FAX：_____
- ご担当者：_____ ■ 部署：_____
- E-mail：_____@_____ ■ 邸名：_____
- 現場住所：_____都・県_____
- 添付書類： 地盤調査データ 案内図 配置図 平面図 基礎伏図
- 建物構造：地上__階・地下__階 木造 RC 木造+RC
- 基礎形状： ベタ基礎 布基礎（ベース幅__mm）
根入深さ：GL-_____mm 基礎接地圧：_____KN/m²
- 盛土予定： 有（盛土厚さ__m）
- 設計GL：BM+ -_____mm ■ 搬入路：W=_____m
- 敷地状況： 上空障害 搬入障害
- 保険保証： 住宅あんしん保証・不同沈下特約を利用
 その他、地盤保証を利用（_____）
- 工事希望日：201__年__月__日～201__年__月__日
- 見積希望日：201__年__月__日 AM・PM

～上記全てご記入・ご用意の上、弊社営業担当者宛てにメール、FAX送付または直接お渡しく下さい～

お問合せ・送付先



〒123-8509 東京都足立区鹿浜 3-3-3
TEL：03-3857-2152
FAX：03-3853-3855
e-mail：jiban@avelco.co.jp

◆ 管理番号 _____ ◆ 担当者 _____（_____支店）